

# 実 施 計 画

第 1 章 計画の考え方

第 2 章 実施計画事業

第 3 章 財政収支の見通し



## 第1章 計画の考え方

---

- 1 計画の位置づけ
- 2 実施計画の期間
- 3 実施計画事業の策定基準
- 4 実施計画の構成
- 5 計画の評価、進行管理
- 6 各計画の期間
- 7 成果指標について
- 8 リーディングプロジェクトについて
- 9 財政収支の見通しについて

# 第1章 計画の考え方

## 1 計画の位置づけ

世田谷区では、平成17年度に向こう10年間の区政運営の指針となる「世田谷区基本計画(平成17年度～平成26年度)」を策定し、さらに基本計画に連なる「世田谷区実施計画」「世田谷区行政経営改革計画」により、中期的展望に基づいて、具体的な施策を推進してきました。

現在、世田谷区の将来像を描く新たな基本構想、基本計画の策定を進めていますが、新たな基本計画への橋渡しとなる計画として、このたび世田谷区実施計画、世田谷区行政経営改革計画を策定しました。

現行の基本計画の実現を図る最終期間の計画であるとともに、世田谷区区政運営方針を基に、新たな基本計画の基盤や仕組みづくりを具体的に推進していく計画です。

## 2 実施計画の期間

平成26年度からの新たな世田谷区基本計画を策定することに伴い、計画期間を平成24～25年度の2か年とします。

## 3 実施計画事業の策定基準

平成23年度までの実施計画を、以下の策定基準により、経常的に実施する事業と、実施計画事業とに整理し、事業数を絞り込みました。

災害対策、耐震促進、保育サービス等を拡充し、社会状況の変化に対応すべき事業に新たに取り組みます。

- (1) 社会状況に対応するために、区として緊急に取り組む事業
- (2) 平成26年度からの新たな基本計画の、基盤や仕組みを作るための事業
- (3) 「世田谷区基本計画」を、本計画期間である2年間に、実現する事業

## 4 実施計画の構成

実施計画事業は、複数の「実施計画事業を構成する事業」により構成します。実施計画事業ごとに成果指標を設定します。

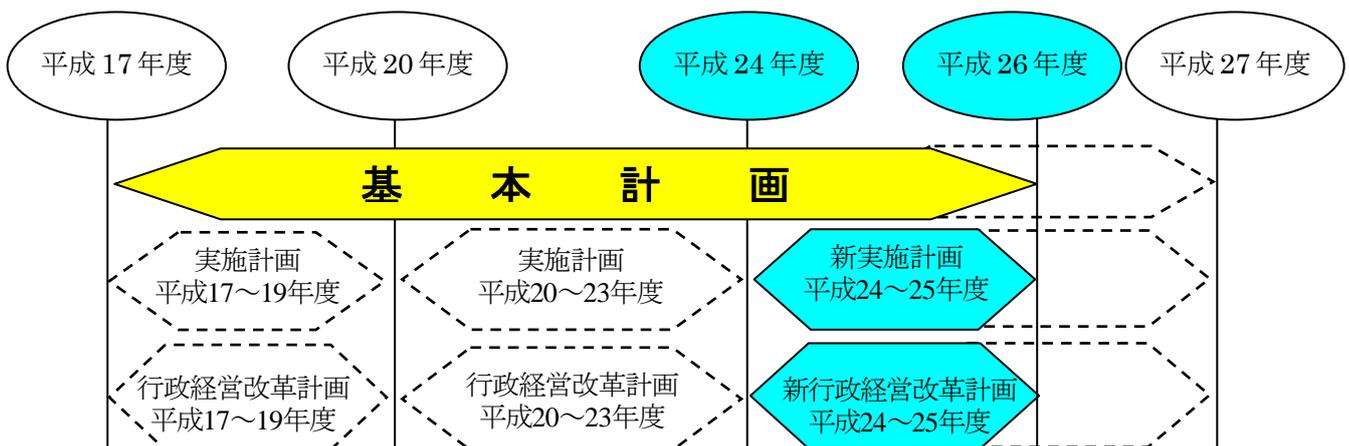
また、「実施計画事業を構成する事業」ごとに数値目標を設定します。

## 5 計画の評価、進行管理

年度毎に、実施計画事業の成果指標などに基づき評価します。

評価結果を計画や事業の見直しに活用するとともに、その進捗状況を区民に明らかにします。

## 6 各計画の期間



## 7 成果指標について

### (1) 成果指標

成果指標とは、実施計画事業の「目標」の実現に向けて、目指すべき水準を、数値などを用いて、定量的に分かりやすく示すものです。

### (2) 成果指標選定の基本的な考え方

実施計画事業ごとに、1～3個の成果指標を設定しています。

区民に分かりやすい成果指標の項目であることを基本として、データの把握が可能なものを選定しています。

なお、成果指標は、できるだけ成果（アウトカム）に着目した指標を採用しましたが、データがとれないなど、そうした設定が困難な場合は、活動（アウトプット）に着目した指標で示しています。

### (3) 平成25年度目標値について

平成25年度の目標値については、現状値や実施計画事業の取組みによる効果などを勘案して、目標値を設定しています。

### (4) 成果指標の活用

年度末に、この成果指標に基づき、実施計画事業を評価、検証し、計画や事業の見直し（追加・修正等）に活用していきます。

## 8 リーディングプロジェクトについて

基本計画のリーディングプロジェクトは、将来に向けた区政の最重要課題への取り組みであり、区の重点施策を牽引する横断的な取り組みです。

平成17年度から10年間の区の取り組みを象徴するとともに、区民が夢を持ち、まちを元気にし、世田谷の魅力を高め、住みたいまち、住んでよかったと思えるまちにするためのプロジェクトです。

実施計画事業を構成する事業がリーディングプロジェクトを推進するための事業に該当する場合、事業分類欄にプロジェクト番号1～5を記載しています。

- |         |                       |
|---------|-----------------------|
| プロジェクト1 | 身近で便利 交流促進プロジェクト      |
| プロジェクト2 | 次代を担う世田谷っ子プロジェクト      |
| プロジェクト3 | いつまでも生きがいを 生涯現役プロジェクト |
| プロジェクト4 | 区民が創る良好な環境プロジェクト      |
| プロジェクト5 | 世田谷の魅力倍増プロジェクト        |

## 9 財政収支の見通しについて

今後2年間の財政収支の見通しは、実施計画事業に要する事業費をあらかじめ見込んであるもので、第3章に示すとおりです。

